

『第8回技術講演会』(第23回 パウレック技術講演会) プログラム

場所: 国立京都国際会館 主催: 新製剤技術とエンジニアリングを考える会

2010年7月14日(水)

2010年7月15日(木)

座長: 川島嘉明氏(愛知学院大学) 迫和博氏(アステラス製薬) 砂田久一氏(名城大学)
 竹内洋文氏(岐阜薬科大学) 徳永雄二氏(沢井製薬㈱) 中上博秋氏(東京医薬品工業協会<元第一三共㈱>) 山本恵司氏(千葉大学大学院) *あいうえお順

	10:00~ 10:10	『開会の挨拶』							
1	10:10~ 11:00	橋田 充 教授 京都大学大学院薬学研究科 『DDS研究の現状と将来展望』	川島嘉明氏	1	10:00~ 10:50	Dr. Richard Green Director, Pharmaceutical Development Pharmaceutical Sciences, Pfizer 『固形製剤の連続製造 - 研究開発の展望』	竹内洋文氏		
2	11:00~ 11:50	Dr. Thomai "Mimi" Panagiotou Chief Technology Officer, R&D, Microfluidics Corporation 『高剪断流体処理技術Microfluidizer: ワクチンの生産と連続式ナノ晶析技術』		2	10:50~ 11:40	榎野 正 博士 京都薬品工業株式会社 取締役創剤研究部長 (元武田薬品工業) 『固形製剤プロセスの技術伝承と展望-造粒・打錠・コーティングの真髓-』			
	11:50~ 12:50	昼食 (1時間)		3	11:40~ 13:00	昼食 (1時間20分) 11:50~12:40 ランチョンセミナー Mr.Ralf Kretzschar President, Glatt Systemtechnik GmbH 『ハイレベル・コンテインメントの応用: 新展開とトレンドについて』	徳永雄二氏		
3	12:50~ 13:40	Dr. Samir Mehta Executive Vice President, Intas Pharmaceuticals Ltd. 『インドの製薬会社の世界的成長: 現状と将来の動向』	山本恵司氏	4	13:00~ 13:50	六車 嘉貢 博士 塩野義製薬株式会社 CMC技術研究所 プロセス技術室 室長 『医薬品製剤製造工場の設計コンセプト展開とその事例紹介』	中上博秋氏		
4	13:40~ 14:30	Ms. Stephanie A. Wilkins President, PharmaConsult US, Inc 『交叉汚染のリスク管理』		5	13:50~ 14:40	Prof. Peter Kleinebudde Institute of Pharmaceutics and Biopharmaceutics Heinrich-Heine-University Duesseldorf 『ラマン分光法及びテラヘルツ分光法の製剤コーティングへの応用』			
	14:30~ 15:00	コーヒーブレイク(30分)			14:40~ 15:10	コーヒーブレイク(30分)			
5	15:00~ 15:50	百瀬 亘 氏 アステラス製薬株式会社 製剤研究所経口剤工業化研究室 研究員 『継続的医薬品品質管理を実現するために必要なこと -医薬品開発段階から商用生産時におけるPATの有効活用およびその課題点-』	迫和博氏	6	15:10~ 16:00	中川 弘司 氏 第一三共株式会社 製剤技術研究所 固形剤研究グループ 専門研究員 『PATを適用したプロセスの構築に向けて -製品の高度な品質保証の実現を目指して-』	砂田久一氏		
6	15:50~ 16:40	川西 徹 博士 国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 部長 『製剤総則改正の概要およびそのインパクトについて』		7	16:00~ 16:50	栄木 憲和 氏 バイエル薬品株式会社 会長 『医薬品産業の将来と工場イノベーション』			
	16:40~ 17:00	休憩			16:50~ 17:00	『閉会の挨拶』			
	17:00~ 19:00	交流会							